



# 福岡看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF NURSING, FUKUOKA NURSING COLLEGE



---

看護学研究科

---

看護学専攻

---

修士課程

---

2024  
令和6年度

# 福岡看護大学大学院

看護実践現場を牽引する看護指導者や管理者を目指す人材、  
臨床や学校等での看護教育を目指す人材を育成します。

## 理事長メッセージ

グローバル化の潮流の中で、感染症もすさまじい速さで蔓延し、医療人の命も危機にさらされました。また、わが国の少子超高齢社会では、高齢者の健康を維持し、明るい未来を切り開いていくことのできる優れた人材の育成が、高等教育機関に強く求められています。

学校法人福岡学園では、この様な社会の変化を見据え、「口腔の健康を通して全身の健康を守る」ことを主軸とし、2017年4月に福岡看護大学を設立し、引き続き2021年4月には大学院研究科修士課程を開設しました。福岡歯科大学、福岡医療短期大学と共に国民の健康を維持するための優れた人材を輩出しています。

このように発展を続けている本学の背景には、学校法人福岡学園の歴史があります。福岡学園は、日進月歩で発展する医療と社会の変化を見据え、「口腔医学」を推進する福岡歯科大学、地域医療を担う医科歯科総合病院、歯科衛生士を育成する福岡医療短期大学、高齢者福祉に資する介護老人保健施設、働きやすい職場環境の一環としての保育園を有し、関連施設としての特別養護老人ホームを擁する医療・保健・福祉の総合学園です。2020年秋に新築された医科歯科総合病院に引き続き、2022年夏には福岡歯科大学創立50周年を迎え50周年記念講堂も完成し、今後も新キャンパス整備計画のもとキャンパスが次々と生まれ変わっていきます。

これからも、さらなる地域医療の推進と健康長寿社会の実現に向けて、人々の尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし(well-being)を支える看護専門職者のみならず保健医療の分野で指導的立場にたつ実践者、教育者、研究者、管理者などの育成を進めてまいります。

本学が位置する福岡市は、古くから対外交流の玄関口として繁栄した歴史と文化を有し、数多くの史跡等が残されています。また、豊かな自然環境の中、都市機能も年々充実しており活気あふれる街です。

皆さんも本学で共に学び、看護や保健・医療・福祉の分野で人々から信頼され、愛される人材として羽ばたかれることを願ってやみません。



学校法人 福岡学園 理事長  
九州大学 名誉教授  
すいた さちよ  
水田 祥代

九州大学医学部卒業、九州大学大学院医学研究科修了。英国留学、福岡市立こども病院小児科部長、九州大学医学部小児外科学講座教授を経て、2004年4月九州大学病院長、2008年10月九州大学理事・副学長に就任。2010年6月から学校法人福岡学園(旧福岡歯科学園)理事・評議員。2015年3月より、理事長に就任。

## 学長(研究科長)メッセージ

看護や保健医療は、人々の健康を維持し、その人らしい生活を支える素晴らしい仕事です。病に苦しむ人だけでなく、地域の人々の健康を促進するために保健・医療・福祉の場で様々な役割を果たしています。激動する社会においてもその専門性を発揮し、人々に貢献することができる仕事です。

本学の大学院研究科は、人々の命と生活を支え、豊かで平和な社会を創造することを目指して2021年4月に設置され、修了生を送り出しています。

本学では看護のみならず、歯科、医科、口腔衛生の領域での優れた指導者が揃っており、より高度な実践力や論理的思考力を持つ実践者、管理者、教育者や研究者を保健医療の分野において養成します。大学院教育は知識や技術を身に付けるだけでなく思索し、疑問を探究する場です。人間や環境を科学的に分析・解釈する力とその応用を学修します。

医療人として臨床や地域、教育現場で遭遇した疑問や解決したい課題を明らかにして行く過程を経てより良い実践がなされてゆきます。その為に、医療を科学する能力と研究・教育の基礎をより高い教育課程である修士過程で磨いてみませんか。本大学院では福岡歯科大学や医科歯科総合病院など恵まれた研究環境が整っており、現代の保健・医療・福祉の様々なニーズに応えるため、経験豊富な看護、医科、歯科、口腔衛生分野の多様な教員が、熱心に指導に当たっています。

特に超高齢社会で注目されている口腔か全身の健康に関する教育や研究は、本学から先駆的の知見が発信されてきました。今後、我が国の医療を支える重要な領域となります。

既存の知識を得るだけでなく、自ら創造し、これから大きく発展するこの新しい分野を切り開く進取の気持ちと好奇心を持って皆様と共に切磋琢磨できることを願っています。



福岡看護大学 学長  
ちしゃき あきこ  
樗木 晶子

九州大学医学部医学科卒業、同大学院医学研究科修了、同大学病院循環器内科入局、米国留学、九州大学病院・助手、講師を経て九州大学医学部保健学科・助教授の後、教授。きらめきプロジェクトキャリア支援センター副センター長、九州大学総長特別補佐、九州大学医学部保健学科長、福岡歯科大学客員教授、2021年4月より福岡看護大学副学長、福岡看護大学大学院研究科長を経て、2023年4月より福岡看護大学学長に就任。(福岡歯科大学医科歯科総合病院健診センター長併任)

# 学校法人 福岡学園

## 医療・保健・福祉の総合学園としての強みを活かした独自の教育環境

学校法人「福岡学園」は福岡歯科大学をはじめ、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡医療短期大学を設置し、キャンパス内に介護老人保健施設や特別養護老人ホーム、保育園を擁する医療・保健・福祉の総合学園です。



福岡歯科大学



福岡歯科大学医科歯科総合病院



福岡医療短期大学



ぺんぎん保育園



介護老人保健施設 サンシャインシティ



社会福祉法人 学而会 特別養護老人ホーム  
サンシャインプラザ



社会福祉法人 学而会 特別養護老人ホーム  
サンシャインセンター

### ■ 福岡学園 沿革

|      |  |
|------|--|
| 1972 | 学校法人福岡科学学園寄附行為認可 福岡歯科大学設置認可                            |
| 1973 | 福岡歯科大学附属病院開設 福岡歯科大学開学                                  |
| 1985 | 福岡歯科大学大学院開設  |
| 1997 | 福岡医療短期大学開学   |
| 1999 | 福岡医療短期大学専攻科歯科衛生学専攻開設                                   |
| 2000 | 福岡医療短期大学保健福祉学科開設                                       |
| 2002 | 介護老人保健施設サンシャインシティ開設                                    |
| 2005 | 病院名を福岡歯科大学医科歯科総合病院に改称                                  |
| 2008 | 福岡医療短期大学歯科衛生学科の専攻科が大学評価・学位授与機構の認可をえて学士(口腔保健学)の専攻科として認定 |
| 2011 | 法人名を福岡学園に変更認可 福岡歯科大学口腔医療センターを開設                        |
| 2013 | 福岡歯科大学歯学部歯学科を口腔歯学部口腔歯学科に名称変更                           |
| 2017 | 福岡看護大学開学 ペんぎん保育園開園                                     |
| 2020 | 福岡歯科大学医科歯科総合病院新病院開院                                    |
| 2021 | 福岡医療短期大学保健福祉学科廃止<br>福岡看護大学看護学研究科看護学専攻修士課程開設            |
| 2022 | 50周年記念講堂竣工   |

## 看護学専攻修士課程の教育目標

### 「学びの方針」

## 3つのポリシー

### 教育研究上の目的

看護学研究科では、「多様に発展する医療分野で活躍するための高度で知的な素養を養うことを目的とし、看護学の専門知識や能力を基礎として、より高度な看護実践と看護教育活動を行うために、専門知識を応用する能力と課題に対する柔軟な思考力や深い洞察に基づく主体的な行動力を身に付けるための教育を行う。また、学部段階の教育で養成された看護学分野の基礎的な資質能力の修得を前提として、口腔から全身への健康支援に資する看護実践力を備え、看護の研究活動を遂行する能力を培う教育を行う。」こととしています。

### アドミッション・ポリシー

「入学者受入方針」

1. 看護学分野、口腔医療に対する興味と関心並びに学習意欲を有している。
2. 看護学分野の基礎的な知識及び基本的な技術と態度を有している。
3. 物事を多面的かつ論理的に考察し、適切に判断することができる。
4. 自分の考えを的確に表現し、相手に確実に伝達することができる。

### カリキュラム・ポリシー

「教育課程編成・実施の方針」

1. 対象者のwell-beingを目指した適切な健康支援のあり方と高度なコミュニケーション技法を活用した応用的な看護実践能力を養成するために「看護基盤科目」を配置する。
2. エビデンスに基づく口腔ケアを提案・推進する看護実践能力を基盤とし、高い倫理観、看護管理、看護教育など、看護活動に関する専門的な能力を養成するために「看護統合科目」を配置する。
3. 様々な健康状態や多様な場で看護を必要とする人々への看護に対し、科学的な思考のもと、質の高い看護ケアを創設する能力を養成するために「看護領域科目」を配置する。
4. 看護実践を質的・量的な側面から扱う研究手法や研究倫理、研究課題を探求し、研究計画を遂行する能力や批判力、論理性、表現力を養成するために「看護研究科目」を配置する。

大学院看護学研究科看護学専攻においては、2年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士(看護学)の学位を授与します。

### ディプロマ・ポリシー

「学位授与の方針」

1. 口腔を起点として全身の健康を支援する看護実践の質的転換を図る能力を身に付けている。
2. 看護活動に関する最新の知見や動向に関する理解と看護活動における俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を身に付けている。
3. 看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究し、臨床教育・継続教育で実践するための高度な専門知識と应用能力を身に付けている。
4. 看護実践の改善・開発に必要な研究マインドと、医療看護を対象とする看護研究の遂行能力を身に付けている。

## 授業科目及び修了要件

### 「学びのコース」 カリキュラム

| 科目区分   | 授業科目の名称     | 配当年次      | 単位数  |    |
|--------|-------------|-----------|------|----|
|        |             |           | 必修   | 選択 |
| 看護基盤科目 | 健康支援特論      | 1年前期      | 2    |    |
|        | 対人関係特論      | 1年後期      | 2    |    |
| 看護統合科目 | □腔医療看護特論    | 1年通年      | 4    |    |
|        | 看護教育特論      | 2年通年      | 4    |    |
|        | 看護倫理特論      | 1年前期      |      | 2  |
|        | 看護管理特論      | 2年前期      |      | 2  |
|        | □腔病態生理特論    | 1年後期      |      | 2  |
| 看護領域科目 | 看護援助特論      | 1年通年      |      | 4  |
|        | 看護・□腔医療連携特論 | 1年通年      |      | 4  |
|        | 成人看護特論      | 1年通年      |      | 4  |
|        | 高齢者看護特論     | 1年通年      |      | 4  |
|        | 精神看護特論      | 1年通年      |      | 4  |
|        | 母子看護特論      | 1年通年      |      | 4  |
|        | 公衆衛生看護特論    | 1年通年      |      | 4  |
|        | 看護領域演習      | 2年前期      | 2    |    |
|        | 看護研究科目      | 看護研究方法    | 1年前期 | 2  |
|        | 看護特別研究      | 1年通年、2年通年 | 8    |    |

### 修了要件

修了要件については、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要な単位として、「看護特別研究」8単位を含む32単位以上を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格すること。

## 看護特別研究内容

### ＼ 教員紹介 ＼

## 看護特別研究担当教員の研究内容

\*研究指導内容は下記に限ったものではありません。

| 担当教員      | 研究内容  |
|-----------|---|
| 基礎・基礎看護部門 | 青木 久恵<br>認知カウンセリング技法を活用した関連図を用いた学習支援法及び学習者の思考過程を支援するチャートを活用した教授法の有用性について研究指導を行う。                  |
|           | 岡田 賢司<br>病原微生物に関する知識を感染症に対する対応及び感染予防や感染症患者の看護の実際へ応用・発展させることについて研究指導を行う。                           |
|           | 晴佐久 悟<br>口腔機能の低下と食欲・体力低下との関係及び器質的口腔ケアと機能的口腔ケアによるオーラルフレイル予防効果や誤嚥性肺炎をはじめとする口腔内細菌による感染予防について研究指導を行う。 |
|           | 三好 麻紀<br>薬物の自己管理を目指し、高齢者の老化現象など様々なリスクに対する改善策を提案できるための研究指導を行う。                                     |
| 健康支援看護部門  | 樗木 晶子<br>循環器疾患患者の看護や口腔ケアにおける心身のアセスメント及び、循環器疾患憎悪因子の評価と病態生理について研究指導を行う。                             |
|           | 飯野 英親<br>先天異常や染色体異常など遺伝性疾患による健康障害をもつ子どもとその家族がより良い療養生活を送るための看護援助の方法について研究指導を行う。                    |
|           | 岩本 利恵<br>難病を抱える患者における自己超越性が高まる要因及び自己超越性と主観的健康観や主体的幸福感との相関関係について研究指導を行う。                           |
|           | 内田 荘平<br>周術期および周麻酔期に関連する有害事象のリスクと予防的看護援助方法（医療安全、感染管理、ME 機器管理、創傷管理、滅菌管理、他）について研究指導を行う。             |
| 地域・在宅看護部門 | 中島 富有子<br>精神疾患を有する人の社会参加に向けた精神科看護師の意欲の向上を高めるための方法論及び社会参加支援を促進するリーダー育成の取組みと課題について研究指導を行う。          |
|           | 角森 輝美<br>地域で生活する人々や働く人々の健康障害の予防から健康づくりや健康生活を支援するための活動計画や実践活動に関する問題について研究指導を行う。                    |
|           | 宮園 真美<br>循環器病予防としての温熱刺激による看護および高齢者や地域療養者を対象とした看護に関する、研究指導を行う。                                     |
|           | 吉田 大悟<br>地域住民における健康課題および生活習慣病の実態とその関連因子の解明について研究指導を行う。  |

## ／ 修学支援 ／

### 長期履修制度

職業を有している場合、修業年限の2年を超えて3年あるいは4年での履修を認める制度です。学費についても3年または4年の在籍期間に応じて分割納入することが可能となり、就業しながらでも修学できるよう配慮されています。

また、履修指導や研究指導は、専任教員が対象院生と相談をしながら、勤務状況や生活実態を考慮し、個別対応を行います。

### ティーチング・アシスタント制度

大学院に在学する院生を対象に、ティーチング・アシスタント(以下TA)制度を設けています。TA制度とは、院生が担当教員の指導・監督の下、学部教育における教授法や教材作成の学修、教育面でのリーダーシップの育成などを図る機会を提供することを目的としており、手当も支給されます。

## 働きのながらの修学

本学では社会人学生に対する履修上の配慮として、大学院設置基準第14条特例を適用し、夜間、土日等の特定の時間、時期に授業や研究指導を行うという教育を実施しています。

## ／ 修了後の進路 ／

### 高度専門職業人として

- 保健・医療・福祉・看護の分野において、各看護領域における質の高い看護ケアの提供に携わり、看護実践の現場での管理職として中核的な役割を担う。
- 保健医療、福祉及び行政機関における専門職

### 研究者・教育者として

- 看護学分野に関する専門的な知識と応用する能力とともに、看護学研究に必要な研究手法を身につけ博士課程へ進学し研究職・教育職を目指す。
- 国公立及び民間各種研究機関研究員
- 大学教育・研究機関における教員及び研究員

## ｜ 修了生Interview ｜

### 福岡看護大学大学院 (看護学研究科)での学びを終えて



九州大学病院勤務

2022年度修了 鳥羽 好和さん

大学院への進学を決めた動機は、看護師長職であり看護管理について深く学びたいと考えたこと、スタッフに指導できるレベルにまで自身の研究能力を向上させたいと考えたことでした。また、集中ケア認定看護師としても活動し、口腔に関する看護研究をいくつか行った経験も活かしたいと考えていた所に、大学院開学の情報を知り、これまでの経験を活かしつつ全ての動機が達成できると考え受験しました。働きのながらの学生生活は想像していた以上に困難なこともありましたが、指導教授を始め関係する先生方のご協力・ご配慮、全力でのサポートのお陰で、卒業を迎えることができました。授業では経験豊富な教授陣による多岐に渡る専門的なご指導を受けることができ、さらに研究では超高齢社会に対応するための口腔ケアの重要性や取り組みについて学習を深め、自身も口腔をテーマに修士論文の作成を納得いくまで深く・丁寧に進めることで、自信につながりました。

# 大学院概要

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 名称   | 看護学研究科 看護学専攻 修士課程                     |
| 入学定員 | 5名 [収容定員10名]                          |
| 修業年限 | 2年 [長期履修制度あり]                         |
| 学位   | 修士 [看護学]                              |
| 入学金  | 200,000円 [本学出身者100,000円]              |
| 授業料等 | 700,000円 [授業料600,000円/教育充実資金100,000円] |



## 入学試験

|        |  |               |
|--------|--|---------------|
| 入学試験区分 | 一般入試   | 社会人入試         |
| 募集人数   | 5名(一般入試・社会人入試あわせて)   |               |
| 出願期間   | [前期] 令和5年11月13日(月)~令和5年11月21日(火)必着<br>[後期] 令和6年 1月 4日(木)~令和6年 1月15日(月)必着 |               |
| 試験日    | [前期] 令和5年11月28日(火)<br>[後期] 令和6年 1月23日(火)                                 |               |
| 合格発表   | [前期] 令和5年12月 4日(月)<br>[後期] 令和6年 1月29日(月)                                 |               |
| 試験科目   | ○英語<br>○小論文 ○面接試験  | ○小論文<br>○面接試験 |
| 入学検定料  | 35,000円  |               |

\*英和辞書一冊のみ使用可

※出願にあたっては、あらかじめ希望する研究指導教員と相談のうえ、手続きを進めてください。

※詳細は入試要項で必ず確認してください。

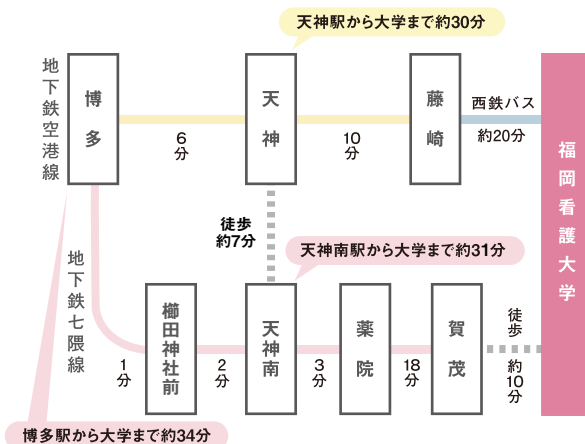
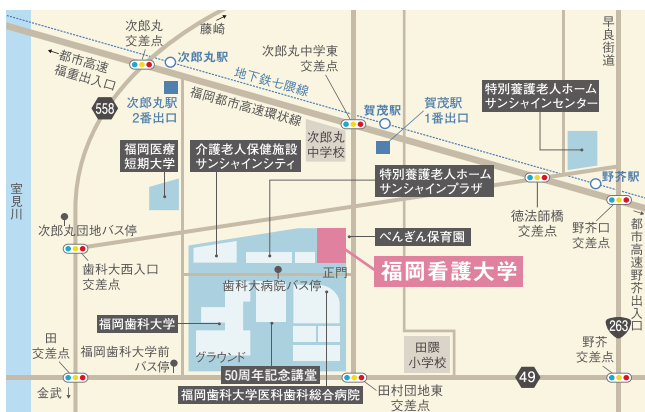
事務問い合わせ先  
事務課 TEL 092-801-0485

大学院説明会 令和5年8月26日(土) 14:00

アクセスマップ

## ACCESS MAP

福岡看護大学は地下鉄七隈線「賀茂」駅から徒歩10分。  
博多、天神、福岡空港、各エリアからのアクセスも便利です。



学校法人 福岡学園

## 福岡看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF NURSING, FUKUOKA NURSING COLLEGE

〒814-0193 福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号 [事務課] TEL.092-801-0485 FAX.092-801-0412

お問い合わせ・受付対応時間9:00~17:00(土日祝休)

[URL] <https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/> [E-mail] [fncgs@fdcnet.ac.jp](mailto:fncgs@fdcnet.ac.jp)



学校法人 福岡学園

福岡歯科大学 福岡歯科大学医科歯科総合病院 福岡看護大学 福岡医療短期大学  
介護老人保健施設サンシャインシティ ペんぎん保育園